

昭和 57 年 春 季 年 会

# 講 演 予 稿 集

於 東京大学理学部 2 号館講堂

昭和 57 年 5 月 17 日 (月) ~ 21 日 (金)

日 本 天 文 学 会

# 日本天文学会 1982 年春季年会

## プログラム

日 時 昭和 57 年 5 月 17 日 (月)~21 日 (金) 午前 9 時~午後 5 時

場 所 東京大学理学部 2 号館講堂 (赤門脇) 電話 03-812-2111 (大学) 内線 4018  
〒113 東京都文京区本郷 7-3-1

午前	9 時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	講演番号
5 月 17 日 (月)	太陽系, 太陽					太 陽					1~ 45
5 月 18 日 (火)	恒 星				理 事 会	恒星, 高エネルギー天文学					46~ 89
5 月 19 日 (水)	星間物質・星雲				評議員会	星間物質 星 雲,	観測機器 情報処理	総 会	懇 親 会		90~126
5 月 20 日 (木)	観測機器・情報処理				写 真	観測機器 銀河系 銀 河 情報処理, 恒星系, 宇宙論					127~169
5 月 21 日 (金)	銀河・宇宙論					銀 河 宇宙論, 位置天文, 天体力学					170~211

☆ 講演時間は一題について 7 分です。講演者は割当時間を厳守して下さい。

☆ スライドは透視した時に正しい上下左右関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に 5mm 位の幅の赤線をつけて下さい。ピラは用いず、スライドは講演時間内に終了できる枚数にして下さい。オーバーヘッドプロジェクターも用意いたしますので希望の方は御利用下さい。

☆ 今回は講演開始が午前 9 時。講演終了が午後 5 時です。

☆ 18 日午前の講演終了後より理事会、19 日の午前講演終了後より評議員会、19 日午後の講演終了後 (午後 4 時頃) より総会 (天体発見賞贈呈, 諸報告, 57 年度予算, 評議員改選の件等について) を開催します。

☆ 記念写真撮影は 20 日午前の講演終了後行います。

☆ 懇親会は 19 日午後の総会終了後午後 5 時半頃より山上会議所において行われます。

第1日 5月17日(月) 午前9時より

1. こぐま座  $\beta$  流星群の著しい活動: 宮下暁彦 (東京天文台)
2. FM 観測による流星エコー数の年周変化: 鈴木和博 (豊川工高)
3. ELF-VLF 流星電波放射の発見: 渡辺 堯 (名大空電研), 鈴木和博 (豊川工高)
4. 流星電波エコーのとどく条件: 長沢 工 (東大地震研)
5. 地球の高層大気中の微隕石 (II): 上条文夫, 中田好一 (東大理)
6. 隕石の破壊: 長谷川博一 (京大理)
7. 小惑星の空間分布: 石田憲一 (東京天文台), 三上孝雄 (東大理), 香西洋樹 (東京天文台)
8. 小惑星エロスの多色変光・偏光観測: 富田弘一郎 (東京天文台), 中田好一 (東大理)
9. ファミリーの考察から予想される小天体の内部構造: 藤原 顕 (京大理)
10. 赤外域における金星の偏光観測: 長田哲也, 西田 稔, 佐藤修二 (京大理), 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)

(休 憩)

11. 火星大気の放射・対流平衡温度分布: 鳴海泰典 (九州東海大工)
12. 惑星大気内輻射強度の決定について: 上野季夫 (金沢工大)
13. Na を加えた  $\text{SO}_2$  frost とイオンの表面の色: 稲吉 彰, 岩沢一男, 武部尚雄 (成蹊大), 小山晃一 (近畿大)
14. 長基線での木星電波シンチレーションの観測 (II): 前田耕一郎, 小田進幸 (兵庫医大)
15. 太陽ニュートリノ捕獲断面積の理論計算: 伊藤直紀, 神山泰治 (上智大理工)
16. 対流層の数値シミュレーション: 浦田健二 (東大理), 近藤正明 (東大教養)
17. 天体内部の磁力線の運動学——太陽周期: 吉村宏和 (東大理)
18. 境界面変化と大気変動の一例: 中川好成 (千葉工大)
19. 黒点中のドップラー巾・減衰定数: 川上 肇 (東大理)
20. クーデ型太陽望遠鏡機器偏光の解析: 牧田 貢, 浜名茂男, 西 恵三 (東京天文台), 川上 肇 (東大理)

第1日 5月17日(月) 午後1時15分より

21. ケニア日食分光観測 (III): 平山 淳, 入江 誠 (東京天文台)
22. 静穏領域 EUV 放射の時間変化成分: 西川 宝 (京大理)
23. 太陽周縁での EUV 輝線の Weakening: 神野光男 (飛驒天文台)
24. スピキュール形成の際の断面積変化の影響: 末松芳法 (飛驒天文台)
25. 彩層における非線型電磁流体波伝播 II: 柴田一成 (愛知教育大)
26. 紅炎中のバルマー輝線の励起温度: 久保田 淳, 當村一朗 (花山天文台)
27.  $D_1 \cdot D_2$  の強度比から見た Na I D 輝線現象: 二階堂義信, 川口市郎 (京大理)
28. プロミネンスのフレアアップ現象: 川口市郎 (京大理)
29. Limb event の分光観測: 中込慶光, 守山史生 (東京天文台)
30. “ひのと” による輝線スペクトルの観測 (IV) フレア加熱の2つのモード: 田中捷雄, 秋田 亨\*, 渡辺鉄哉, 西 恵三, 宮崎英昭, 中桐正夫, 熊谷収可, 宮下正邦, 岡本富三, 入江 誠, 佐野一成 (東京天文台, 東大理\*), 火の鳥チーム
31. “ひのと” による輝線スペクトルの観測 (V) 多温度解析: 秋田 亨 (東大理), 田中捷雄, 渡辺鉄哉, 西 恵三, 宮崎英昭, 中桐正夫, 宮下正邦, 岡本富三, 入江 誠, 佐野一成 (東京天文台), 火の鳥チーム
32. “ひのと” FLM によるフレア・プラズマの熱変遷: 渡辺鉄哉, 田中捷雄 (東京天文台), 秋田 亨 (東大理)
33. “ひのと” FLM から求めたフレアの温度と EM: 一本 潔, 當村一朗, 北原達正, 末松芳法, 神野光男 (京大理)

(休 憩)

34.  $H\alpha$  フレアの微細構造と, X線,  $\mu$  波バーストの相関 ——1981年9月7日のフレア——: 黒河宏企, 神野光男 (飛驒天文台)
35. SXT による2次元形状からみた硬 X線フレアの種類: 大木健一郎 (東京天文台), 常田佐久, 高倉達雄, 新田就亮 (東大理), 小川原嘉明, 村上敏夫, 牧島一夫, 小田 稔 (宇宙科学研), 渋谷暢孝 (東京天文台), 他ひのと観測チーム

36. 硬X線バーストのループ状放射源: 高倉達雄, 常田佐久, 新田就亮 (東大理), 大木健一郎 (東京天文台), 牧島一夫, 村上敏夫, 小川原嘉明, 小田 稔 (宇宙科学研)
37. コロナ中での硬X線フレア: 常田佐久, 高倉達雄, 新田就亮 (東大理), 大木健一郎, 渋谷暢孝 (東京天文台), 小川原嘉明, 村上敏夫, 牧島一夫, 小田 稔 (宇宙科学研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 「ひのとり」観測チーム
38. 「ひのとり」HXM による硬X線スペクトルの観測: 新田就亮, 大木健一郎†, 高倉達雄, 小川原嘉明\*, 村上敏夫\*, 牧島一夫\*, 常田佐久, 小田 稔\*, 近藤一郎††, 渋谷暢孝† (東大理, †東京天文台, \*宇宙科学研, ††東大宇宙線研)
39. ひのとりによる太陽ガンマ線の観測: 平島 洋, 吉森正人, 奥平清昭 (立大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研)
40. 太陽電波・硬X線バーストの新モデル: 甲斐敬造 (東京天文台)
41. インパルシブ硬X線バーストのモデル: 鈴木育郎 (名大理)
42. 太陽フレアの電波源とX線源: 河崎公昭, 小川英夫, \*高倉達雄, \*\*大木健一郎, \*常田佐久 (名大理, \*東大理, \*\*東京天文台)
43.  $\mu$  波電波源の高さと黒点上空のコロナ: 柴崎清登 (名大空電研)
44. 太陽近傍プラズマのシミュレーション解析: 鷲見治一, 荻野竜樹 (名大空電研)
45. IMF 極性反転面の構造: 籾木 修, 今井富夫 (東大理)

## 第2日 5月18日(火) 午前9時より

46. 輻射平均強度と流束の数値積分について: 吉岡一男 (日本私学教育研究所), 成相恭二 (東京天文台)
47. 潜入対流の線型モデル(II)——境界層問題: 近藤正明 (東大教養), 海野和二郎 (東大理)
48. 恒星の二層モデルにおける熱的緩和振動: 安富 允 (名古屋大理)
49. 自転星の子午面環流: 尾崎洋二 (東大理)
50. AFGL 源の偏光観測: 大谷 浩, 菊池 仙\*, 三上良孝\*, S. ヴィラミナルジャ, 高柳和智\*\* (京大理, 東京天文台\*, 竜谷大\*\*)
51. 恒星赤外スペクトルにおける  $H_2$  4重極遷移: 辻 隆 (東京天文台)
52. 炭素星 U Cygni の CN 分子二重線: 平井正則 (福教大)
53. 炭素星の近赤外域測光: 佐藤修二, 長谷川博一 (京大理), 葉紀棠, 胡景耀 (北京天文台), 黄福金, 劉彩品 (紫金山天文台), 祝 捷, 蘇定強 (南京天儀廠)
54. CH Cygni の circumstellar lines とその視線速度: 柳 桂和 (東大理), 山下泰正 (東京天文台)
55. 種族 I ケフェイドのシュミレーション (I): 相川利樹, 氏家慧一, 奥田 亨\*, 竹内 峯 (東大理, \*北教大函館分校)

## (休 憩)

56. Quantitative Spectral Classification of OBA Stars on Objective-prism Spectra: S. D. ヴィラミナルジャ (京大理)
57. 青色水平枝星のスペクトル解析: 小平桂一 (京大理), A. G. D. Philip (ダドレイ天文台)
58. プレオネの金属線解析: 1977年~1979年: 片平順一 (堺市科研), 平田龍幸 (京大理)
59. On the Stellar Activity of Pleione: R. Hirata (Univ. Kyoto), D. Ballereau, and A. M. Hubert-Delplace (Meudon Observatory)
60. Be 星エンベロープの力学モデル: 斎藤 衛 (京大理), 斎藤泰通 (岩手大教育)
61. IUE による Ap 星 HD 221568 の観測: 定金晃三 (大阪教育大), 寿岳潤 (東京天文台), 高田昌英 (東大理)
62. Am 食連星 AN And の分光観測: 中村泰久 (都立駒場高), 北村正利 (東京天文台)
63. 短周期非接触連星 BV Eri, BW Eri: 山崎篤磨 (東大教養), H. W. Duerbeck, M. T. Karimie (Univ. Bonn), D. Baade (Univ. Münster)
64. 接触連星系からのガス流出の数値計算: 松田卓也, 沢田恵介, 蜂巣 泉 (京大工)
65. 特異連星 BE UMa の食の発見: 安藤裕康, 岡崎 彰, 西村史朗 (東京天文台)

第2日 5月18日(火) 午後1時15分より

66. 回転ポリトロープの分裂と連星系の生成: 蜂巣 泉(京大工), 江里口良治(東大教養)
67. 二重リング・多連星平衡形状: 江里口良治(東大教養), 蜂巣 泉(京大工)
68. ベータ平衡物質からなる回転星の安定性: 木口勝義, 佐藤勝彦(京大理)
69. BW Vul 紫外部吸収線の視線速度に見られる LEVEL 効果: 伊藤 胖(秋田大教育)
70. 特異輝線星 HBV 475 の低温高速膨脹殻の検出: 田村真一(東北大理)
71. オリオン領域の真空紫外域分光測光観測: 沢村峰夫, 小平桂一, 田中 済, 尾中 敬(東大理), 渡辺鉄哉, 西 惠三(東京天文台)
72. 激変星 AC Cnc の発見: 岡崎 彰, 北村正利(東京天文台), 山崎篤磨(東大教養)
73. 激変星の進化と I 型超新星爆発: 藤本正行(新大教育), R. E. Taam(ノースウェスト大)
74. 星の進化の爆発的段階における元素合成: 橋本正章(早大理工), 花輪知幸(東大理), 杉本大一郎(東大教養)
75. I 型超新星爆発のモデル: 野本憲一(東大教養)
76. ニュートリノ・トラッピングで超新星は爆発するか: 高原まり子(東大教養), 佐藤勝彦(京大理)
77. 中性子星からの質量放出 (I): 戎崎俊一, 花輪知幸(東大理), 杉本大一郎(東大教養)

(休 憩)

78. 中性子星からの質量放出 (II): 加藤万里子(東大理)
79. 連星系での中性子星の熱的進化: 花輪知幸(東大理), 藤本正行(新潟大教育)
80. T Tau 型星活動の磁気質量吸着モデル: 内田 豊(東京天文台)
81. 磁気星の相対論的重力崩壊: formalism と初期条件: 大原謙一(京大理), 前田恵一(京大基研)
82. アクリーション・ディスク中の非定常現象: 福江 純(京大理)
83. 磁気降着円盤の鉛垂構造について: 堀内利得(広大理論研)
84. 回転する星の磁気圏: 柴田晋平(東北大理)
85. 磁場を伴う星風の臨界解: 桜井 隆(東大理)
86. ひのとりによる宇宙ガンマ線バーストの観測: 吉森正人, 奥平清昭, 平島 洋(立大理), 近藤一郎(東大宇宙線研), ひのとり硬X線グループ
87. X線バーストの光・X線の相関: 津野克彦, 宮本重徳, 常深 博, 山下広順(阪大理), 満田和久, 大橋隆哉, 松岡 勝, 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 横野文命, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 柴崎徳明, 田中靖郎(宇宙研), 早川幸男, 国枝秀世, 政井邦昭, 長瀬文昭, 田原 譲(名大理), 近藤一郎(東大宇宙線研)
88. Vela X-1 のX線光度の公転周期依存性: 佐藤尚久, 早川幸男, 長瀬文昭, 他白鳥チーム
89. Gas Disk Traverse Model for Transient X-ray Sources: 柴崎徳明<sup>A</sup>, 他白鳥チーム<sup>A, B, C, D</sup>(宇宙研<sup>A</sup>, 名大<sup>B</sup>, 阪大<sup>C</sup>, 宇宙線研<sup>D</sup>)

第3日 5月19日(水) 午前9時より

90. ゆっくりと動く天体を過ぎる粘性流: 桜井健郎(京大工)
  91. 高密度星間雲中での荷電粒子密度: 梅林豊治(京大理)
  92. 磁気雲の収縮と星の磁場の起源: 中野武宣, 梅林豊治(京大理)
  93. H II 領域の水素原子の Population Structure: 篠原正雄(東大理)
  94. 星間 H I ガスにおける熱不安定性の連鎖反応について: 佐場野 裕(東北大理), 祖父江義明(東京天文台)
  95. 衝撃波の累積圧縮による fragmentation: 吉井 譲(東京天文台), 佐場野 裕(東北大理)
  96. 等温ガス雲の重力収縮 (3次元シミュレーション): 観山正見(京大理)
  97. Collapsing Gas Clouds の形状について: 成田真二(同志社大工), 観山正見, 林忠四郎(京大理)
  98. 星間物質の Limit Cycle モデル: 富田博之(京大教), 池内 了(北大理)
  99. Shock Compressed Layer の重力不安定 II 磁場の効果: 富阪幸治, 池内 了(北大理)
- (休 憩)
100. グロビュールにおける H $\alpha$  輝線星の探査: 小倉勝男(国学院大), 長谷川辰彦(東北大理)
  101. Simple H II Regions の電離ガスと星間塵の分布: 仲野 誠, 小暮智一(京大理), 作花一志(京都コンピュータ学院), 水野 舜(金沢工大), 佐々木敏由紀, S. D. Wiramihardja(京大理)

102. B 361 方向の間偏光観測 (I): 関 宗蔵 (東北大教養), 長谷川辰彦, 高窪啓弥 (東北大理), 菊池 仙, 三上良孝, 清水 実 (東京天文台)
103. 星周塵の形成と質量放出 (II): 小笹隆司, 関 淳二, 長谷川博一 (京大理)
104. オリオン星雲に広がる  $2\mu$  赤外線源 (2): 直井雅文, 川良公明\*, 舞原俊憲\*, 寿岳 潤\*\*, 富田弘一郎\*\*, 斉藤馨児\*\*, 大島紀夫\*\*, 磯部瑠三\*\* (東京学芸大, \*京大理, \*\*東京天文台)
105. オリオン領域の CO 分子線観測 (I): 藤本泰弘, 福井康雄, 小川英夫, 鷹野敏明 (名大理)
106. 220 nm 吸収を示す炭素質物質: 坂田 朗, 和田節子, 奥津佳之, 小針俊哉, 新谷治生 (電通大), 中田好一 (東大理)
107. 気相からの核生成実験: 尾中 敬\*, アーノルド (カリフォルニア大, \*現・東大理)
108. 炭素鎖分子成長による固体微粒子の形成: 鈴木博子 (京大理)
109. B 35 領域のプライトリム— $\text{HCO}^+$  観測: 面高俊宏 (杏林大), 長谷川哲夫 (野辺山宇宙電波観測所), 亀谷 収 (東北大理), 林 正彦 (東大理)

### 第3日 5月19日(水) 午後1時15分より

110. TMC 1 領域の CO 分子線観測: 鷹野敏明, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)
111. 高分解スペクトロメーターでみた巨大分子雲: 藤本光昭, 福井康雄 (名大理)
112.  $^{13}\text{CO}$  Observations of W51 Region: 大石雅寿 (東大理), 小平眞次, 中村 強, 石井孝一 (木更津工専), 稲谷順司 (東京天文台)
113.  $^{13}\text{CO}$  輝線による銀経  $1^\circ$  付近の survey: 中村 強, 小平眞次, 石井孝一 (木更津高専), 稲谷順司 (東京天文台)
114. 銀河系中心領域の CO 分子線観測: 川辺良平, 福井康雄, 小川英夫, 藤本光昭 (名大理)
115. 銀河系中心核方向の  $\text{HC}_3\text{N}$ ,  $\text{H}_2\text{CO}$  輝線: 福井康雄, 小川英夫, 川辺良平 (名大理), 出口修至 (FCRAO), 鈴木博子 (京大理)
116. Radio Loops の探索 (非常に古い SNRs?): 中井直正 (名大理), 祖父江義明 (東京天文台)
117. 45 m 鏡試験観測 (I)——アンテナ性能: 森本雅樹, 赤羽賢司, 海部宣男, 石黒正人, 宮地竹史, 平林 久, 祖父江義明, 稲谷順司, 宮沢敬輔, 井上 允, 近田義広, 長谷川哲夫 (野辺山宇宙電波観測所)
118. 45 m 鏡試験観測 (II)・スペクトル観測: 海部宣男, 稲谷順司, 長谷川哲夫, 宮地竹史, 石黒正人, 森本雅樹, 赤羽賢司, 平林 久, 井上 允, 近田義広, 高原文郎, 神沢富雄 (野辺山宇宙電波観測所)
119. 45 m 鏡試験観測 (III)——太陽のマッピング: 石黒正人, 井上 允, 稲谷順司, 長谷川哲夫, 海部宣男, 森本雅樹 (野辺山宇宙電波観測所)
120. 45 m 電波望遠鏡のフロント・エンド現況: 稲谷順司, 森本雅樹, 海部宣男, 赤羽賢司, 宮沢敬輔, 長谷川哲夫, 長根 潔, 平林 久 (東京天文台)
121. 45 m 望遠鏡用ミリ波冷却受信機の製作: 長谷川哲夫, 稲谷順司, 海部宣男, 宮沢敬輔, 神沢富雄 (野辺山宇宙電波観測所), 小平眞次 (木更津高専), 面高俊宏 (杏林大), 林 正彦 (東大・理)
122. 野辺山 45 m 鏡のソフトウェア開発状況報告: 近田義広, 石黒正人, 平林 久, 宮地竹史, 井上 允, 長谷川哲夫, 神沢富雄 (東京天文台・野辺山宇宙電波観測所)
123. ミリ波低雑音受信機の試作: 小平眞次, 石井孝一, 中村 強 (木更津高専), 稲谷順司, 宮沢敬輔 (東京天文台)
124. 1.5 m 短ミリ波望遠鏡 (IV): 杉谷光司, 小川英夫, 河鱈公昭, 川辺良平, 加藤龍司, 鷹野敏明, 林 良一, 福井康雄, 藤本泰弘 (名大理)
125. 4 m 短ミリ波望遠鏡計画 (II): 小川英夫, 河鱈公昭, 加藤龍司, 川辺良平, 鷹野敏明, 福井康雄, 藤本光昭, 藤本泰弘, 林 良一 (名大理)
126. Minimum Redundancy Phase Closure Array: 森田耕一郎 (名大空電研), 石黒正人 (東京天文台)

### 第4日 5月20日(木) 午前9時より

127. 広視野フェーズド・アレイの感度: 大師堂経明 (早大教育)
128. Modified CLEAN による SXT 像合成法: 小杉健郎 (東京天文台)
129. UHF 太陽風観測装置 (III): 小島正宜, 石田善雄, 丸山一夫, 柿沼隆清 (名大空電)

130. 多相関型電波干渉計用広帯域1ビット相関器の試作: 西尾正則, 築地義雄, 舘目信三, 柴崎清登, 森田耕一郎 (名大空電研)
131. 計算機プログラムを用いた軸外放物鏡面検査の検討: 馬場直志 (千葉大工), 磯部秀三, 野口 猛 (東京天文台), L. Golden (Kitt Peak Nat. Obs.)
132. ハネカム方式による大型軽量鏡の鑄造: 野口 猛, 磯部秀三 (東京天文台), 馬場直志 (千葉大), 馬渡正秀 (小原光学硝子 K. K.), R. Angel (アリゾナ大)
133. F比の小さい望遠鏡に関する一考察: 磯部秀三 (東京天文台), Epps (UCLA)
134. ステラー・マグネットグラフの調整と観測: 石橋史朗 (東大理), 成相恭二, 乗本祐慈, 渡辺悦二 (東京天文台)
135. 多色偏光測光装置の性能と現状: 三上良孝, 菊池 仙, 柴崎 肇, 山口達二郎, 飯塚吉三, 野口本和 (東京天文台), 昆野正博 (駿台学園高), 芝山京子 (宇都宮大教育)
136. 多色偏光測光装置の周辺機構の充実: 山口達二郎, 飯塚吉三, 柴崎 肇, 野口本和, 三上良孝, 菊池 仙 (東京天文台), 昆野正博 (駿台学園高)

(休 憩)

137. 新 30 cm 反射望遠鏡の測光装置: 佐藤英男, 西野洋平, 土屋 淳 (東京天文台)
138. 太陽面輝度測定装置: 浜名茂男, 宮沢正英, 水垣和夫, 平山 淳 (東京天文台)
139. サブビーム・プリズムを用いた微小天体の光度較正: 征矢野隆夫, 野口 猛, 前原英夫, 石田憲一 (東京天文台)
140. フォーミングガスを用いた超増感: 青木 勉 (東京天文台)
141. オーバーレイ・マップの作成: 佐々木敏由紀 (京大理)
142. 星消去式光電測光器: 田鍋浩義, 嵩地 厚, 宮下暁彦 (東京天文台)
143. 太陽極紫外領域分光測光望遠鏡: 西 恵三, 平山 淳, 田中捷雄, 渡辺鉄哉, 山口朝三, 中桐正夫 (東京天文台)
144. ロケット (S 520-3CN) 搭載用真空紫外分光測光望遠鏡: 田中 濱, 小平桂一, 尾中 敬, 沢村峰夫, 秋田 亨 (東大理), 西 恵三, 渡辺鉄哉, 山口朝三, 中桐正夫 (東京天文台)
145. ロケットによる超流動 He の無重力実験: 野口邦男, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩, 宇山喜一郎 (名大理), 村上正秀, 中庭典行 (筑波大構造), 永野 弘 (東大物性研)
146. 近赤外域 Fabry-Pérot 分光器: 田中培生, 佐藤修二 (京大理), 奥田治之 (宇宙科学研)

第4日 5月20日(木) 午後1時15分より

147. K-3 型データリダクション用ソフトウェアの設計: 国森裕生, 近藤哲朗 (電波研鹿島)
148. K-3 型自動運用ソフトウェア (KAOS): 村上秀俊, 高橋富士信, 国森裕生 (電波研鹿島), 鈴木保立 (日本電子開発)
149. 最近の MK-III データベースについて: 小池国正, 吉野泰造, 高橋富士信 (電波研鹿島)
150. 大地雑音の評価による水蒸気ラジオメータのアンテナパターンの必要条件の検討: 黒岩博司, 川口則幸 (電波研鹿島)
151. VLBI 観測量に及ぼす周波数揺ぎの影響: 川口則幸 (電波研鹿島)
152. 遅延時間測定用 VLBI の専用アンテナに関する考察: 藤下光身, VLBI 研究グループ (緯度観測所)
153. 最尤法による F, G, K, M 型星の絶対等級の決定: 三上孝雄 (東大理), André Heck (IUE 天文台)
154. バーナード・ループ内の星の分布: 西野洋平, 磯部秀三, 佐々木五郎 (東京天文台)
155. 輝線天体のサーベイ: 前原英夫 (東京天文台)
156. 銀河系中心領域方向の星間吸収分布: 市川 隆 (京大理), 浜島清利, 石田憲一 (東京天文台), B. Hidayat, M. Raharto (Bosscha 天文台)
157. 銀河面における近赤外線源のカウント: 川良公明, 小笹隆司, 佐藤修二 (京大理), 小林行泰 (宇宙線研), 奥田治之 (宇宙研), 寿岳潤 (東京天文台)
158. 銀河系バルジの構造: 小泉 裕, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩, 宇山喜一郎 (名大理), 山上隆正 (宇宙研), J. A. Thomas (メルボルン大)

(休 憩)

159. 銀河系のガスの状態の関係について: 祖父江義明 (東京天文台), 沢 武文 (愛知教育大)

160. 分子雲“ガス”系における有効な粘性とその効果: 福長正考 (東北大理)
161. 銀河磁場: 祖父江義明 (東京天文台), 藤本光昭 (名大理)
162. 銀河衝撃波における星生成の効果: 土佐 誠 (名大理)
163. 銀極方向密度分布から考察した化学進化: 大道 卓 (東北大理), 吉井 讓 (東京天文台)
164. 球状星団の CNO 量と年齢: 有本信雄, 中村誠臣 (東北大理)
165. Dynamical Evolution of Spherical Systems—Stability of King's Model: P. Wiyanto and S. Kato (University of Kyoto)
166. NGC 4762 の空間光度分布: 浜部 勝 (東大理), 若松謙一 (岐阜大)
167. S0 銀河 NGC 4762 内の色の分布: 大脇直明 (東京学芸大), 根岸 潔 (都立富士森高校)
168. 円盤銀河の楕円構造の軸比・位置角 (II): 水野孝雄 (東京学芸大教育), 浜島清利 (東京天文台)
169. A Prolate Model of Elliptical Galaxies: 森田一彦 (北大理)

**第5日 5月21日(金) 午前9時より**

170. 重力系の速い緩和の現象論: 会津 晃 (立教大理)
  171. M 31 と伴星雲 NGC 205 の重力相互作用: 佐藤 昇, 沢 武文 (愛知教育大)
  172. マージャーの密度分布: 石沢俊亮 (京大理)
  173. 銀河団における Dynamical Friction の効果 II. —Secondary Maximum について—: 藤嶋康夫, 土佐 誠 (名大理)
  174. Phase-Change Model of Galaxies II.: 田中 裕 (京大理), 池内 了, 羽部朝男 (北大理)
  175. セイファート銀河と超銀河団: 山本将史, 佐々木 実, 兼古 昇, 西村雅樹 (北大理)
  176. Group of Galaxies—Cet I Group の構造: 西村雅樹, 兼古 昇, 山本将史, 外山清高 (北大理)
  177. ビーム流の構造と膨脹則: 横沢正芳 (茨大理), 池内 了, 坂下志郎 (北大理)
  178. 薄い定常降着円盤の内縁近傍の構造: 加藤正二 (京大理)
  179. 木曾紫外超過銀河の形態およびスペクトル (II): 高瀬文志郎, 野口 猛, 前原英夫 (東京天文台)
- (休 憩)
180. Markarian 326 (non-Seyfert 的輝線銀河核) の分光観測: 谷口義明, 田村眞一 (東北大理)
  181. 特異銀河 MCG 5-29-86: 若松謙一 (岐阜大工短), H. C. Arp (CIW)
  182. BL Lac Objects の短期変動: 菊池 仙, 三上良孝, 沖田喜一, 柴崎 肇, 山口達二郎, 野口本和, 飯塚吉三 (東京天文台)
  183. QSO の統計的研究 II: 三好 蕃 (京都産大理)
  184. 膨脹宇宙における相互作用による粒子生成: 黒田友二, 成相秀一 (広大理論研)
  185. ニュートリノ優勢宇宙と銀河形成: 富田憲二 (広大理論研)
  186. Superposed Two Kerr-NUT 解の性質: 木原正博, 富松 彰 (広大理論研)
  187. 宇宙初期の長波長ゆらぎと宇宙黒体輻射: 田辺健茲, 富田憲二 (広大理論研)
  188. 閉じた膨脹宇宙における量子論的スカラー場: 石原秀樹, 成相秀一 (広大理論研)
  189. 宇宙の一次相転移と Baryon-Monopole 問題: 伊沢瑞夫, 佐藤勝彦 (京大理)

**第5日 5月21日(金) 午後1時15分より**

190.  $O_4$  重力理論における Dirac の巨大数仮説と粒子生成: 小幡常啓 (東北大工), 大嶋 洋 (東邦大)
191. 異方膨脹と保存量: 久保守正 (東海代理・コスモ)
192. 統一宇宙像による重力湧出論: 黒河徹次 (西新サービス)
193. 天文座標系の左右問題: 若生康二郎, 大江昌嗣 (緯度観測所)
194. ドップラー観測における電離層の影響 II: 佐藤克久, 原 忠徳 (緯度観測所)
195. 東京の子午環観測の系統差及び精度: 原 寿男, 古川麒一郎 (東京天文台)
196. 自動光電子午環 (IV): 宮本昌典 他, 子午線部 (東京天文台)
197. 自動光電子午環 (PMC 190) の観測精度 (IV): 吉澤正則 (東京天文台), 安田春雄
198. 自動光電子午環の目盛誤差検出法 (II): 石井 久, 宮本昌典 (東京天文台)



199. 最近の世界の光学的時刻観測: 関口直甫 (東京天文台)
200. 放送衛星による時刻比較の軌道誤差: 川瀬成一郎, 佐藤得男 (電波研)  
(休憩)
201. 地球回転運動観測に及ぼす海洋潮汐の影響: 菊池岩夫, 笹尾哲夫 (緯度観測所)
202. VLBI 測地観測の最適スケジュール: 中嶋浩一 (東京天文台)
203. Proper Reference Frame の VLBI 観測方程式への応用: 松坂 茂 (東大理), 藤本真克, 青木信仰, 中嶋浩一  
(東京天文台)
204. 一般相対論に基づく視位置計算法: 福島登志夫 (水路部)
205. ELP 2000 による星食解析 (1979-80 年分): 相馬 充 (東大理)
206. 日本・中国・朝鮮の月星の食犯の古記録: 齊藤国治 (日大文理)
207. 代数積分存在のための必要条件 (I): 吉田春夫 (東大理)
208. 3 次のカプリングポテンシャルと積分: 堀 源一郎 (東大理)
209. 土星の衛星イアーベツスの軌道改良: 畑中至純 (東京天文台)
210. フーリエ・チェビシェフ近似の月・惑星暦への応用: 中井 宏, 木下 宙 (東京天文台)
211. オイラーの運動方程式の拡張: チャンドラー周期の年周変化: 全 麒在